

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		15 03 02	中期総合計画主要施策番号		3-09,4-01	担当課	部・課	教育委員会事務局高校教育課	
事業名		高等学校施設整備事業					内線	4353	
							E-mail	koko@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・高等学校の校舎、体育施設の改築や大規模改修を耐震対策と併せて行い、教育環境の向上と生徒の安全の確保を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・経年劣化により校舎や体育施設等が老朽化したり、耐震性が不足している施設がある。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・施設の改築や改修には多額の費用がかかることから一度に実施できるものには限度があり、整備に時間を要する。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・老朽化した施設について、耐震性が低い施設から計画的に改築や耐震補強を含む改修工事を進めていく必要がある。							
	事業内容	・老朽化した体育施設(鉄骨造)のうち、耐震改修が必要とされた施設等の改築 ・老朽化した校舎(鉄筋コンクリート造)のうち、耐震改修が必要とされた施設等の大規模改修							
実施期間	H18(耐震改修)～		根拠法令等	長野県耐震改修促進計画、県有施設耐震化整備プログラム					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・老朽化した体育施設の改築や校舎の大規模改修を行うことにより、教育環境の向上を図るとともに、耐震性の向上等により生徒の安全を確保する。		・体育施設の改築工事(1校)と地盤調査(4校)を実施する。 ・校舎の大規模改修工事(1校)を実施する。			・体育施設の改築工事(1校)と地盤調査(4校)を実施した他、実施設計(1校)を行った。 ・校舎の大規模改修工事(1校)と実施設計(1校)を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	27,747	270,563	715,464	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	27,747	163,073		実施方法 直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	27,747	25,073	715,464	歳出節別内訳等		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	5.00	5.00	5.00	・役 務 費: 352 ・委 託 料: 18,176 ・工事請負費: 144,545		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	63,447	198,818	751,209	(単位: 千円)	(H21への繰越額: 107,490)	
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	地盤調査		校	7	4	1			
	実施設計		校	5	2	5			
	改築工事等		校		2	3			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・体育施設・校舎等の老朽化による改修等のニーズがある。 ・県立高校の施設であり、長野県教育委員会が直接関与する必要がある。 ・施設の安全面等の必要性から判断して改修等を進めており、当面有効性・効率性について見直しの余地はない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・施設の老朽化等による施設整備のニーズに応えるため、学校生活の安全確保等、緊急性に配慮しながら施設整備を進める。						